

※「はらまち九条の会」は会員403名。超党派で会員を募集中です。年会費千円。



九条はらまち

「はらまち九条の会」会報 No.120

2009(平成21)年12月25日(金)発行



<12月25日はバプ・初日の誕生日・クリスマス。ギリシア正教会では1月6日>

◆紀元前4年のこの日、ユダヤのベツレヘムに生まれたと伝えられる。30歳頃から福音を説き、33歳、紀元後29年頃十字架にかかったが、復活したとされる。キリスト教の始祖。

○「こころの貧しい人たちは、さいわいである。天国は彼らのものである。」

平和をつくり出す人たちは、さいわいである。彼らは神の子と呼ばれるであろう。」

○「あなたの剣をもとのところにおさめなさい。剣をもって栄える者は剣によって滅びる」

インターネット「はらまち九条の会・ホームページ」が開設

2月17日、待望の本会のホームページができました。まだまだ未完成ですがアドレスは、<http://www.haramachi9jo.net> です。

内容は、①全国の各九条の会、②東京の(中央)九条の会、③福島県九条の会にリンク、

さらに、h①入会の呼びかけ、h②会の組織やこれまでの活動、h③会報「九条はらまち」既発行の全号、

h④これからの活動は、h⑤平和のための資料、h⑥会員のみならず、h⑦相双地区九条の会の活動を掲載。

会員の大浦洋見、畑島隆男、平野敬彦、菅野恵子さんが担当し、奇蹟の中古パソコンで、勤務やお仕事の間をぬって、お互いに学習しあいながらの開設です。どんどん追加し改訂していきます。ご覧ください。



これからの行事

一緒に「憲法」を手渡ししませんか？

<新年1月10日(日)成人式「憲法」小冊子を配布の活動>

●今回で3年目になりますが、新年1月の南相馬市原町区成人式の新成人約400名に、『憲法』小冊子を贈呈配布します。成人式会場前で、一人ひとりに「成人おめでとうございます」と、声をかけながら手渡しします。

●『憲法』小冊子とは、昭和46年に当時の原町市が公費で作成し市内全家庭に配布したものの復刻版で、きちんと熨斗袋に入れて差し上げます。

●新成人の晴れ姿を見るのもいいものですし、少しの勇気を出して声をかけてみるとこちらにも元気になります。本会事務局員数名と一緒に手渡しできる方は、事務局員までご連絡ください。お待ちしております。

(ただし、例年大変風も冷たく寒いので、完全な防寒対策をお忘れなく！)

○日時:2010年1月10日(日)12時~1時30分

○場所:原町区・ゆめはっと(市民文化会館)前

※小高九条の会でも、同日、小高区; 会館前で『憲法』を配布します。



▲例年このような熨斗袋に入れて新成人に配布しています。

3月7日(日)原町区朝日座で(予定) 大澤豊監督・映画『日本の青空』II 映画『いのちの山河』上映会

11月の会報No.116でお知らせしましたが、全国初の老人・乳児医療を無料化した岩手県沢内村の実話で、深沢晟雄(さわまさお)村長<写真>を主人公にした劇映画です。キャストは長谷川初範、とよた真帆、加藤剛、大鶴鶯丹、宍戸開など。

現在、相双地区の九条の会の共催で、そのほか様々な団体の後援をいただいて、「福島県初の上映会」めざして計画中です。



4月24日(土) 蓮池透さん講演会

(元・北朝鮮による拉致被害者
家族連絡会事務局長)

4月24日(土)
午後2時~4時

会場:原町区
ザライオ南相馬

(本会総会も、同日同会場で開催)



東京大学大学院教授・「九条の会」事務局長

小森陽一氏二度の講演会開催

＜南相馬市中央図書館オープン記念事業＞

壇谷雄高生誕100年記念講演会

演題：『壇谷雄高文学の現代的意義』

○12月19日(土)19時～○会場：市立中央図書館

難解な壇谷文学ですが、その解釈法を示した講演でした。

「なげ」という問いかけを繰り返して、政治の真実の呪縛から自らを自由の呼吸する。その道筋を壇谷文学が示している。小森氏の講演会。



文学者は戦争にどう関わってきたか、そして今は…

○12月20日(日)10:00～12:00

○会場：小高区浮舟文化会館 **出席者130名**

○主催：小森陽一さんのお話を聞く会

(小高史談会・小高商工会・小高ロータリークラブ・相双地区九条連・相馬地方芳平和フォーラム・小高九条の会・はらまち九条の会)

○後援：南相馬市教育委員会・福島民報社

ユーモア一杯、聞き応えのある大変豊かな内容で90分の長さを感じさせない講演でした。講演のレジメのみ紹介します。

I 2009年生誕百年をわが作家たち

- ①中島 敦・戦争と権力と物語を考え抜く
- ②太宰 治・自意識の分裂と女語りの間で
- ③大岡昇平・戦争の真相と戦後日本社会批判
- ④松本清張・権力闘争の現実と歴史認識
- ⑤壇谷雄高・形而上学的小説の極北へ

II 壇谷雄高を21世紀にどう読み直すのか

- ①『死霊』とドストエフスキーの世界
- ②＜政治と文学＞から＜政治への没入＞
- ③監獄体験と『死の家の記録』
- ④＜妄想のなかの陶醉＞と＜存在自体の目ざめ＞
- ⑤戦争の中における文学者

III 21世紀の戦争をどう克服するのか

- ①バックス・アメリカナの崩壊
- ②「北朝鮮問題」をどう解決するのか
- ③オバマ大統領のノーベル平和賞受賞
- ④日本国憲法九条の位置
- ⑤文学は最も政治的であり、政治は最も文学的である

○両講演会について、小森先生のお許しをいただき、録音カセットテープ・CD・DVDを作成中です。

「はらまち九条の会」事務局員連絡先

○平田慶彦会長 TEL24-1211(市外局番 TEL0244)

○山崎健一事務局長 TEL22-8631

(〒975-0014 南相馬市原町区西町3-53-2)

○井上由美(会計) TEL22-7511・FAX26-0892

○石田賢二 TEL22-4037 ○早坂吉彦 TEL22-0326

○番場恵子 TEL22-0715

皆様のご協力に感謝申し上げます

＜一年の活動を振り返って・事務局員より＞

◆今年は何といても政権交代があり、大きな変化の年でした。自民党から民社党に代わって、憲法9条に対する対応はやゝトーンダウンした感じですが、まだまだ油断は出来ません。次世代のためにも、これからも皆んなで力を合わせて憲法9条を守るために頑張ります。 (会長・平田慶彦)

◆夢のような核廃絶の篝火(かがりび)は、ノーベルが仕掛けた火薬の中に弾け、世界を照らし始めるだろう。静かに眠る赤子の柔肌につか、本当の温もりを。命・みんなで見守ろう。 (石田賢二)

◆この会が発足した時、当時の政府の勢いから、一・二年でいずれ結着はつくだろうと思いましたが、主に時流のなせる業か、五年目も過ぎようとしています。いよいよこれからが正念場なのかもしれません。息長く、しなやかにと自戒しつつ。 (早坂吉彦)

◇2009年ももうすぐ終わりです。今年も会費をいただき、ありがとうございました。会計係として大切に遣わせていただきます。1年に一度ですが、会費納入の時お話が出来る機会、それも楽しみにしております。 (井上由美)

◇今年も政権交代の騒ぎで、改憲問題は隠れてしまっていた事もあってか、私達九条の会も少し緊張感が薄れていました。でも、来年5月には、改憲手続法である国民投票法が施行されるのですから、戦力を持つとする改憲の動きを油断せず見張り続けてゆきましょう。 (番場恵子)

◆まだ勤務していて朝7時に家を出ます。その合間の事務局担当ですが、不十分な活動で責任を感じています。

「知る者は言わず、言う者は知らず」(老子)。聞きかじりや付け焼き刃のいい加減な知識で会報を編集し、その軽率さや傲慢さにもいつも自己嫌悪し、また戦争を正当化するオバマ大統領に失望しています。 (山崎健一)



＜会報の訂正など＞

●No.116表の面 12月20日の小森陽一氏講演会は、10時からでした。

●No.116裏の面 「知事抹殺」を一冊読んだだけで、佐藤栄佐久氏の主張が正しいと信じているわけではありません。ご理解ください。 (山崎)